

三重県知事 鈴木 英敬 様

鈴鹿市内におけるスタジアム建設について（依頼）

寒冷の候、貴職におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、鈴鹿アンリミテッド FC に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、前期は、鈴鹿アンリミテッド FC が JFL に昇格し、次のステージとなる J3 を目指し全国を転戦いたしました。この次のステージである Jクラブに入会するにあたっては、JFL での成績のみならず、Jリーグの規定する要件を満たす、ホームスタジアムがあることが条件の一つとなっています。

スタジアムは、「観るスポーツ」の価値や潜在力を最大化させる舞台であり、各種イベントの開催などにより、日常的なにぎわいを創出することのできる施設です。また、Jクラブは、その100年構想の理念から「地域の重要無形文化財」として「ソーシャルビジネス」（社会的企業）としての性格を持ち、地域愛の源となり地域に社会的・経済的効果のみならず、地域の元気や活力を増大させるきっかけになると考えています。

鈴鹿アンリミテッド FC がホームタウンとするスタジアムにつきましても、今後のチームの成長に伴い地域のランドマークとなり得る場所への建設が必要であると考えます。鈴鹿市内での立地の優位性、民間企業とのコラボレーションや他のプロスポーツチームとの連携などを考慮し、Jリーグの規定する要件を満たすスタジアムの建設候補地は、「鈴鹿青少年の森」敷地内が最適であると判断しているところです。

「鈴鹿青少年の森」の利活用により、三重県のスポーツ振興の一助と為り得るとも考えておりますことから、スタジアムの建設に対しまして何卒ご配慮いただきますようお願い申し上げます。

令和2年1月29日

鈴鹿市長 末松 則子

鈴鹿市サッカー協会 会長 太田 正明

(株)アンリミテッド 代表取締役 会長 西岡 保之